

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1110 川上地区浄化槽施設管理経費	会計	01	一般会計
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	03	環境対策費
行革大綱の重点事項番号		細目	257	浄化槽設置及び管理事業
担当部課		細々目	01	川上地区浄化槽施設管理経費
コード		750100	担当者	中山 良憲
名称		青山振興課	氏名	連絡先
				52 - 1114 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	川上ダム建設に伴う川上地区集団移転地の住民	※対象件数 30(世帯)
成果(どうする)	汚水二次処理施設の良好な維持管理をすることにより、放流水の適切な水質が保持され、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。	
根拠法令・要綱等	浄化槽法	
開始年度	平成 13 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	排水処理施設の設備や機械・装置等の保守・点検 浄化処理により発生した汚泥の清掃・処分	
社会情勢 の変化等	排水処理施設の老朽化による部品の取替え、設備等の更新に経費が掛かる。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積 (延床面積)		委託先	施設保守・点検・清掃
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	2,468 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
施設保守点検(1回/月)	目標	回	12	12	12	12
	実績		12	12		
水質検査(1回/月)	目標	回	12	12	12	12
	実績		12	12		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
水質基準達成率(達成回数/測定回数)	処理水の品質検査結果が、浄化槽法及び水質汚濁防止法による基準及び施設の目標放流水質基準を超える回数の比率を指標とすることにより、適正な維持管理ができていくかを把握できる。	%	目標	100	100	100	100
			実績	100	100		
			目標				
			実績				

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	2,445	2,515	2,867	2,867				
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,445	2,515	2,867	2,867				
事業投入人件費(B)	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.1人 720	0.1人 720				
フルコスト(A)+(B)	3,885	3,955	3,587	3,587				

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を <input type="text" value="100%"/> 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 <input type="text"/> 繰越の種別 <input type="text"/>	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	当施設より排出される放流水の水質基準は、かなり厳しいものであり、その維持は施設の老朽化に伴い徐々に困難となることが予想されるため、引続き適切な維持管理体制を保持する。
昨年度の取組状況	【状況】 <input type="text" value="計画のとおり進んでいる"/>
	【詳細】 排水処理施設の設備や機械・装置等の定期的な保守・点検の実施

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
事業の方向性	【方向性】 <input type="text" value="現状維持"/>
	【理由】 地域の公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全のため。
現時点における課題、その他	特になし
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	